

社会資本総合整備計画 事後評価シート
恵庭駅西口地区都市再生整備計画

平成29年3月

北海道 恵庭市

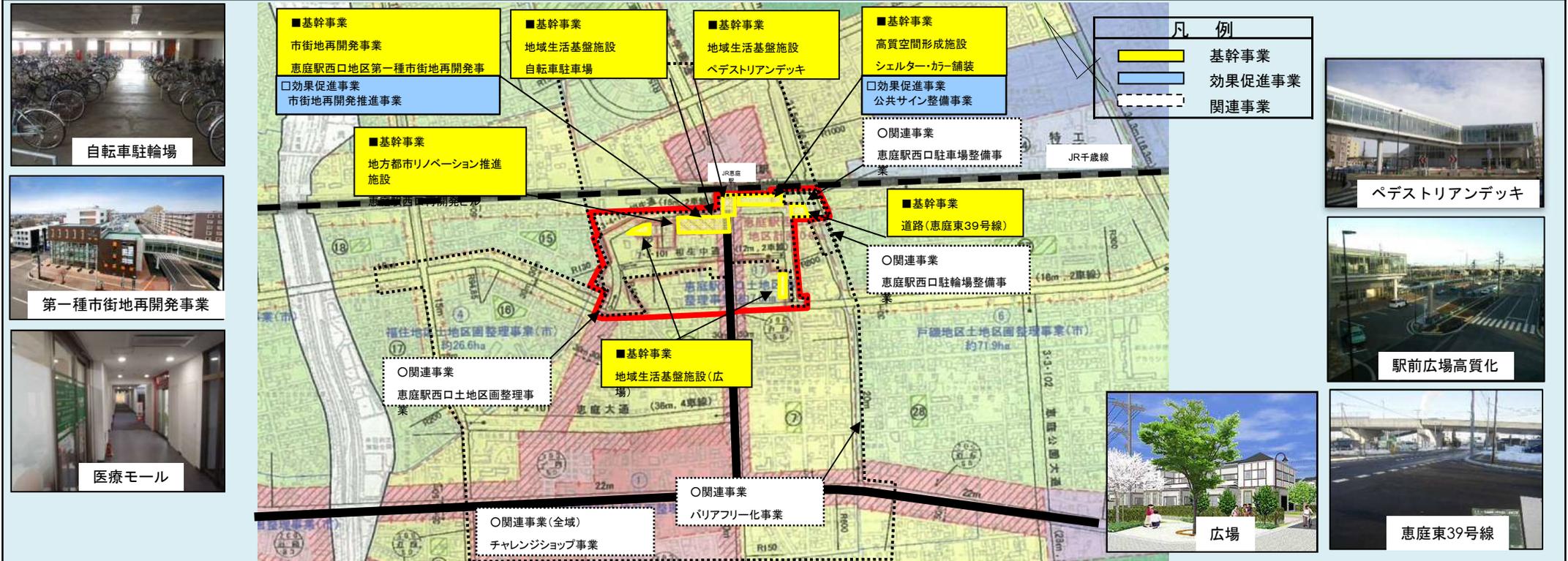
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道	市町村名	恵庭市	地区名	恵庭駅西口地区		面積	11.4ha					
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	785.1	国費率	0.495						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【都市再生整備計画事業】●道路事業(地方都市リノベーション事業)：恵庭東39号線、●地域生活基盤施設(地方都市リノベーション事業)：ペDESTリアンデッキ、自転車駐車場、●地域生活基盤施設：広場、●高質空間形成施設(地方都市リノベーション事業)：シェルター、カラー舗装、●地方都市リノベーション推進施設：恵庭駅西口再開発ビル医療モール、●市街地再開発事業(地方都市リノベーション事業)：恵庭駅西口地区第一種市街地再開発事業										
		関連事業	【都市再生整備計画事業(提案事業)】●地域創造支援事業：市街地再開発支援事業、公共サイン整備事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		関連事業	【都市再生整備計画事業】●道路(地方都市リノベーション事業)：恵庭東19号線、恵庭中央6号線、恵庭中央2番線		恵庭東19号線：他事業での実施による削除。 恵庭中央6号線・恵庭中央2番線：区画整理事業の遅れにより事業期間内の整備が不可能なり、他事業での実施による削除。		影響なし						
	新たに追加した事業	効果促進事業	●公園緑地整備事業、●地域情報誌作成事業		公園緑地整備事業：基幹事業の地域生活基盤施設(広場)に移行したことによる削除。 地域情報誌作成事業：他事業(土地区画整理事業)の情報も掲載することから削除。		影響なし						
		基幹事業	【都市再生整備計画事業】●リノベーション推進施設：再開発ビル医療モール、●地域生活基盤施設：広場		再開発ビル医療モール：地方都市リノベーション事業の創設により追加。 広場：都市計画道路の沿道に広場を配置し、地区内の回遊性を高めるため追加。		影響なし						
交付期間の変更	当初変更	平成24年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						なし				
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	指標1	商業サービス施設利用者数	人/日	18	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
					H23	500	H28		1,036	○	あり	道路整備や駅前広場へのシェルター設置などにより、駅前へのアクセス性の向上や快適な歩行空間が確保されるなど交通結節点機能が強化され、多機能な再開発ビルやペDESTリアンデッキの整備により利便性の高い駅前に再整備されたことが、来訪者の増加に繋がったものと思われる。	—
	指標2	放置自転車台数	台/12h	192	H23	40	H28		6	○	あり	駐輪場の整備により十分な収容能力が確保され、駅前広場の再整備により自転車を放置しづらい環境に変化したことに加え、継続的に実施している放置自転車の取締りの効果が表れている。	—
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前地	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	その他の数値指標1	その他の数値指標2			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 駅前が再整備されたことにより地域住民や周辺企業による、駅周辺のゴミ拾いや植樹樹の除草などのボランティア活動が行われるようになった。 地区内において、住宅や賃貸マンション、店舗の建替えが行われるなど民間による建設投資が活発化されると共に新しい駅前の街並み景観が形成されてきている。 												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等			
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

恵庭駅西口地区（北海道 恵庭市） 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標：「安心安全に暮らせるコンパクトな生活都市」の実現のため、 鉄道駅を拠点とした集約型都市構造の形成。	商業サービス施設利用者数	単位：人/日	18 H24	500 H28	1,036 H28
	放置自転車数	単位：台/12h	192 H24	40 H28	6 H28
目標1：駅周辺地域の活性化のために、都市基盤の整備と合わせて生活利便施設の集約を図る。					
目標2：鉄道駅利用者及び周辺住民のために安心・安全な歩行空間の確保を図る。					



まちの課題の変化

- ・駅西口の利便性の向上に加え、再開発ビルに地域に求められていた施設を誘致できたことにより、駅前への集客が増加し賑わいが回復しつつある。
- ・駐輪台数の確保及び駅前広場環境の変化に加え、放置自転車の取締りにより、安全で快適な歩行空間が確保された。
- ・再開発ビル内には空きテナントや事務所系のテナントが存在し、駅前通沿の空き地も青空駐車場となる等、賑わいの創出としての課題が残された状況となっている。
- ・駅前への来訪者が増加したことにより、防犯対策、交通安全対策が必要となった。
- ・既設横断歩道の撤去により、平面的に道路横断ができなくなり、目的地によっては利便性が低下した面がある。
- ・再開発ビル内の屋内駐輪場はシーズン毎の契約制で供用していることから、契約者以外のビル施設利用者の自転車置き場がない。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- ・当該地区周辺の市有地において、公的機能と民間施設を集約した複合施設(緑と語らいの広場)整備を新たに進めており、両地区を結ぶ商店街の活性化を促進すべくエリアマネジメントの働きかけを行う。
- ・一度、放置自転車が発生すると、加速的に台数が増加するため、継続的に取締りを行うとともに駐輪場利用のPRを行う。
- ・再開発ビルの積極的なテナント誘致を行うとともに駅西口の空き店舗及び低利用地の解消に向け、地域の自主的な取組みを促すべくエリアマネジメントの働きかけを行う。
- ・北海道警察及び北海道公安委員会と連携・調整を図り、交番誘致活動や信号設置要望西口における防犯対策及び交通安全対策を講じる。
- ・駐輪場利用料金体系を見直し、短期間における利用のシステムを構築し利用者の利便性の向上を図る。

恵庭駅西口地区都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定住的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 事後評価委員会の審議

- 添付様式8 事後評価委員会の審議

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他 ()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への 影響	事後評価時の完成状況	
		事業費 (百万円)	事業内容	事業費 (百万円)	事業内容			完成	完成見込み
道路 (地方都市リノベーション事業)	恵庭中央6号線	3	L=25m	-	-	他事業移行による事業削除。	影響なし		
道路 (地方都市リノベーション事業)	恵庭中央2番線	1	L=10m	-	-	他事業移行による事業削除。	影響なし		
道路 (地方都市リノベーション事業)	恵庭東19号線	12	L=115m	-	-	他事業実施による事業削除。	影響なし		
道路 (地方都市リノベーション事業)	恵庭東39号線	23	L=33m	34	L=33m	事業実施精査による事業費の増。	影響なし	●	
公園									
古都保存・緑地保全事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設 (地方都市リノベーション事業)	自転車駐車場	63	700㎡・600台	58	743㎡・350台	事業実施精査による規模及び事業費の変更。	影響なし	●	
地域生活基盤施設 (地方都市リノベーション事業)	ペDESTリアンデッキ	195	W=4.0m、L=70m	246	W=4.0m、L=59.4m	事業実施精査による規模及び事業費の変更。	影響なし	●	
地域生活基盤施設	広場	-	-	10	3箇所(1,138㎡)	区域内の回遊性を高めるべく事業追加。	影響なし	●	
高質空間形成施設 (地方都市リノベーション事業)	シェルター・カラー舗装	54	シェルター L=100m ブロック舗装 A=1,200㎡ 照明灯 4基	64	シェルター L=97m ブロック舗装 A=1,100㎡ 照明灯 6基	事業実施精査による規模及び事業費の変更。変更	影響なし	●	
高次都市施設									
地方都市リノベーション 推進施設	恵庭駅西口再開発ビル			20	医療モール 整備補助	地方都市リノベーション事業創設により事業追加。	影響なし	●	
中心拠点誘導施設									
連携生活拠点誘導施設									
生活拠点誘導施設									
高齢者交流拠点誘導施設									
既存建造物活用事業(高次都市施設)									
土地区画整理事業									

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

効果促進事業・提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への 影響	事後評価時の完成状況	
		事業費 (百万円)	事業内容	事業費 (百万円)	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	市街地再開発促進事業	77	再開発区域内から区域外への移転補償	145	再開発区域内から区域外への移転補償	区域外移転件数の増加による事業費の増。	影響なし	●	
	公共サイン整備事業	20	公共サイン設置	5	公共公益施設の案内サインの設置	実施精査による事業費の変更	影響なし	●	
	公園緑地整備事業	4	0.18ha	-	-	都市再生整備計画事業：地域生活基盤施設(広場)移行による事業の削除。	影響なし		
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業	地域情報誌作成事業	2	2,000部	-	-	他事業実施による事業削除。	影響なし		

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費(百万円)		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
土地区画整理事業		恵庭駅西口	2,500	3,000	平成23年度～平成37年度	平成23年度～平成37年度	物価の高騰により事業費は増加したが、費事業は概ね順調に進捗している。	
J R恵庭駅バリアフリー化事業		J R恵庭駅	298	298	平成15年度～平成16年度	平成15年度～平成16年度	平成16年度事業完了し交通弱者に対応した施設となっている。	
恵庭駅西口駐車場整備事業		恵庭駅西口	50	50	平成22年度～平成23年度	平成22年度～平成23年度	平成23年度事業完了し、利用率も高く推移している。	
恵庭駅西口駐輪場整備事業		恵庭駅西口	11	11	平成23年度～平成23年度	平成23年度～平成23年度	平成23年度事業完了し、通勤、通学者に広く利用されている。	
チャレンジショップ事業		恵庭駅西口	3	3	平成22年度～平成25年度	平成22年度～平成25年度	事業利用申込者が無いため、平成25年度事業終了	

添付様式 2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値 (エ)			目標達成度※2	1年以内の 達成見込みの 有無		
				基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	数値		モニタリング	事後評価	あり
指標1	商業サービス施設利用者数	人/日	—	18	H23	500	H28	モニタリング				モニタリング		
								事後評価	確定見込み ●	1,036	事後評価	○		
指標2	放置自転車台数	台/12h	—	192	H23	40	H28	モニタリング				モニタリング		
								事後評価	確定見込み ●	6	事後評価	○		
指標3								モニタリング				モニタリング		
								事後評価	確定見込み		事後評価			
指標4								モニタリング				モニタリング		
								事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5								モニタリング				モニタリング		
								事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	駅前広場や道路及びベデストリアンデッキ等の整備により駅前へのアクセス性、回遊性、交通結節点機能が向上したとともに、駅周辺に求められていた施設を再開発ビル内に誘致できたことにより目標を達成した。	事後調査日に定休日だった施設があったため、実際はもっと多い利用者があると思われる。
指標2	駐輪場の整備により十分な収容能力が確保され、駅前広場の再整備により自転車を放置しづらい環境に変化したことに加え、継続的に実施している放置自転車の取締りの効果により目標を達成した。	学生の利用が多く、天候や曜日により駐輪台数が変動する。
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○：評価値が目標値を上回った場合

△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式 2 - ② その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考) ※ 1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)	基準 年度	基準 年度	数値 (ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課 題等)
							モニタリング	事後評価		
その他の 数値指標 1							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標 2							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標 3							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		

※ 1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。

添付様式 2 - 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・ 駅前が再整備されたことにより地域住民や周辺企業による、駅周辺のゴミ拾いや植樹樹の除草などのボランティア活動が行われるようになった。
 ・ 地区内において、住宅や賃貸マンション、店舗の建替えが行われるなど民間による建設投資が活発化されると共に新しい駅前の街並み景観が形成されてきている。

添付様式 3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式 3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式 3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
恵庭市都市再生整備計画 事後評価庁内会議	関係各課職員（生活安全課、子育て支援課、商工労働課、まちづくり推進課、都市整備課）	平成29年 2月 2日（原案回付） 平成29年 2月 8日 会議開催	建設部都市整備課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

種別	事業名・箇所名	指標の種別	指標1	指標2	指標	指標
		指標名	商業サービス施設利用者数	放置自転車台数	指標改善への貢献度	総合所見
都市再生整備計画事業	道路事業(地方都市リノベーション事業)：恵庭東39号線	◎	道路整備や駅前広場へのシェルター設置などにより、駅前へのアクセス性の向上や快適な歩行空間が確保されるなど交通結節点機能が強化され、多機能な再開発ビルやペDESTリアンデッキの整備により利便性の高い駅前再整備されたことが、来訪者の増加に繋がったものと思われる。	駐輪場の整備により十分な収容能力が確保され、駅前広場の再整備により自転車を放置しづらい環境に変化したことに加え、継続的に実施している放置自転車の取締りの効果が表れている。	-	-
	地域性達基盤施設：広場	○				
	地域性達基盤施設(地方都市リノベーション事業)：ペDESTリアンデッキ	◎				
	地域性達基盤施設(地方都市リノベーション事業)：恵庭駅西口駐輪場	○				
	高質空間形成施設(地方都市リノベーション事業)：シェルター・カラー舗装	○				
	地方都市リノベーション推進施設：医療モール	◎				
	市街地再開発事業(地方都市リノベーション事業)：恵庭駅西口地区第一種市街地再開発事業	◎				
効果促進事業	市街地再開発推進事業	○	-	-	-	-
	公共サイン整備事業	○	○	-	-	-
		-	-	-	-	-
関連事業	土地区画整理事業(恵庭駅西口地区)	◎	◎	-	-	-
	JR恵庭駅バリアフリー化事業	◎	-	-	-	-
	恵庭駅西口駐車場整備事業	○	-	-	-	-
	恵庭駅西口駐輪場整備事業	○	◎	-	-	-
	チャレンジショップ事業	△	-	-	-	-

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	活気と賑わいのある駅前の構築に向け、「緑と語らいの広場」と合わせて、一体的な駅西口地区の魅力向上に努める。	屋内駐輪場の利用法を多様化するなど、駅西口への来訪者に対して、利便性の向上を図る。
-------	---	---

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
恵庭市都市再生整備計画 事後評価庁内会議	関係各課職員（生活安全課、子育て支援課、商工労働課、まちづくり推進課、都市整備課）	平成29年 2月 2日（原案回付） 平成29年 2月 8日 会議開催	建設部都市整備課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと（課題の改善状況）	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
駅に近い地理的条件に恵まれているものの空き店舗等の低利用地が散在し、賑わいに欠け活気が無い。	駅西口の利便性の向上に加え、再開発ビルに地域に求められていた施設を誘致できたことにより、駅前への集客が増加し賑わいが回復しつつある。	目標数値は達成したものの、再開発ビル内には空きテナントや事務所系テナントが存在し、駅前通沿の空き地も青空駐車場になる等、賑わいの創出としての課題が残された状況となっている。	駅前への来訪者が増加したことにより、防犯対策、交通安全対策が必要となった。 既設横断歩道の撤去により、平面的に道路横断ができなくなり、目的地によっては利便性が低下した面がある。
駅前広場の狭隘化に加え、都市基盤整備が未整備なため、放置自転車が増加しバリアフリー化に支障をきたしている。	駐輪台数の容量確保及び駅前広場環境の変化に加え、放置自転車の取締りにより、安全で快適な歩行空間が確保された。		再開発ビル内の屋内駐輪場はシーズン毎の契約制で供用していることから、契約者以外のビル施設利用者の自転車置き場がない。

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式 5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	駅周辺の賑わいの定着と活性化	当該地区周辺の市有地（駅前通沿い）において、公共的機能と民間施設を集約した複合施設（緑と語らいの広場）整備を新たに進めており、両地区を結ぶ商店街の活性化を促進すべくエリアマネジメントの働きかけを行う。	・イベント事業 ・起業支援事業
	安全で快適な歩行空間の確保	一度、放置自転車が発生すると、加速度的に台数が増加するため、継続的に取締りを行うとともに駐輪場利用のPRを行う。	・放置自転車取締り ・駐輪場利用のPR活動

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	駅西口における賑わいの創出と活性化	再開発ビル内の積極的なテナント誘致を行うと共に、駅西口の賑わいの創出と活性化に向け、地域の自主的な取組みを促すべくエリアマネジメントの働きかけを行う。	・エリアマネジメントセミナー
	駅西口の防犯対策、交通安全対策	北海道警察及び北海道公安委員会と連携・調整を図り、西口における防犯対策及び交通安全対策を講じる。	・交番誘致交渉 ・信号設置要望
	歩行者の平面的な道路横断	平面交差による往来を可能にすべく、北海道警察及び北海道公安委員会と調整を図り、横断歩道の設置を行い、歩行者の利便性の向上を図る。	・信号設置要望 ・横断歩道設置要望
	再開発ビル利用者の駐輪対策	駐輪場利用料金体系を見直し、短期間における利用のシステムを構築し利用者の利便性の向上を図る。	・1日利用契約制度

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式 5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
●	事業の実施過程の評価（添付様式 3）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式 4-②）を再確認した。
—	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式 4-③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式 5-②）を再確認した。

添付様式 5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

「緑と語らいの広場」を含めた駅西口エリア全体での一体的な賑わいづくりを推進する。

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	計測の容易な指標設定のため、達成度の判定が容易にできた。	<ul style="list-style-type: none"> ・指標設定において、事後評価の実施を考慮し、計測の容易な指標を設定する。 ・数値指標の計測は、平日と休日のデータを計測する。 ・事前と事後で調査対象件数に変化が生じる場合があることから1件当りの数値を指標とする。
	うまくいかなかった点	施設利用者の計測日が定休日と重なってしまった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・事業内容と指標の関係が明確であるので、事業の効果をわかり易く示すことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画作成の際、事後評価の実施を考慮し事業による効果が発現しやすい指標を選定すると共に、目標値は客観的且つ現実的な数値を設定し、設定根拠を明確にする。 ・従前値及び目標値の算出方法の記録を保管しておくことが必要。
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		<ul style="list-style-type: none"> ・事後評価シートの他に一般市民にも解り易い資料を添付するなど、工夫して公表することが必要。
	うまくいかなかった点	事後評価（原案）の公表の際、住民からの意見が1件も来なかった。	
PDCAによる 事業・評価の 進め方	うまくいった点	・事後評価の実施によって、事業の成果を確認することへの意識が向上した。	
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅を中心としたまちづくりを行う基本姿勢を崩さず事業計画を策定する。 ・複合施設等を整備する際には、計画段階から地元企業と意見交換を行うなど地元企業と連携して進める。
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

今後、JR島松駅のバリアフリー化に合わせ、駅周辺の再整備を行う予定であり、島松駅周辺地区として都市再生整備計画事業の活用を検討している。

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに原案を掲載	平成29年2月15日～2月28日まで	平成29年2月15日～2月28日まで	電子メール及び担当課の持参、FAX又は郵送により受け付ける	建設部都市施設課
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	建設部都市整備課窓口にて閲覧	平成29年2月15日～2月28日まで	平成29年2月15日～2月28日まで		

住民の意見	意見なし
-------	------

添付様式 8 事後評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	岡本浩一（北海学園大学工学部建築学科 教授）	平成29年3月21日	建設部都市整備課	恵庭市都市再生整備計画事業事後評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	佐々木政男（恵庭商工会議所 専務理事） 臼澤和博（相生町自治会 会長）				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	成果の評価	<ul style="list-style-type: none"> 指標数値計測の設定は、平日・休日に区分してデータを計測した方が良いのではないか。 指標1の商業サービス施設利用者数の数値の設定について、事前と事後で施設の件数の違いがあることから、1施設当りでの数値とした方が望ましいと思われる。
	実施過程の評価	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
	効果発現要因の整理	<ul style="list-style-type: none"> 指標2における指標改善への貢献度について、効果促進事業の公共サイン整備事業については間接的な貢献と思える。 指標2における今後の活用について、施設に関連した活用法の工夫等についてを記述した方が良い。
	事後評価原案の公表の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 事後評価シートや計画書の他に一般市民にも解り易い資料も添付するなど、公表の仕方に工夫が必要。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	<ul style="list-style-type: none"> シートの修正は必要だが、事後評価の手続きは妥当である。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	<ul style="list-style-type: none"> 駅前通商店街については、ほとんど空き店舗は無い状況となっている。 再開発ビルの医療モールには空きテナントがあり、事務所系のテナントが入るなど賑わいの創出については、課題が残る。 横断歩道の撤去により平面的に道路横断ができなくなり、目的地によっては歩行者の利便性が低下した面もある。
	フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> 評価事項なし
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 複合施設の建設の際には、計画段階から地元企業と意見交換を行う等、地元と連携して進めて欲しい。 再開発ビルと緑と語らいの広場の両施設の波及効果により面的に活性化されることを期待している。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	<ul style="list-style-type: none"> シートの修正は必要だが、今後のまちづくり方策は妥当である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 3つの鉄道駅を中心にまちづくりを行う基本姿勢を忘れずに今後の事業を進めていただきたい。 	